

★まちのわだい★

菜の花畑に案山子を造ろうプロジェクト

九州新幹線全線開業記念おもてなし支援事業「ようこそくまもと大作戦 菜の花畑に案山子を造ろうプロジェクト」で、常葉保育所の園児が作製した「くまもん案山子」「おてもやん案山子」が銀賞を受賞しました。案山子は、2週間ほどで出来あがり、園児はみんな満足した表情で、森口那央ちゃんは、「顔を描いたけど、綿でできていたので、やわらかく難しかった。」、佐々木祐太くんは、「くま蒙の肉球を作った。指先まで綿をつめるのが難しかった。」とそれぞれ感想を話してくれました。



▲「くまもん」と「おてもやん」案山子



▲案山子を作ったふじ組のみなさん

八代海清掃活動

4月3日、「八代海北部沿岸都市」地域連携創造会議（福島和敏会長）主催により、氷川河口部、八代海沿岸の清掃活動が行われ、漁業関係者など50人が参加しました。この活動は、氷川河口および八代海沿岸環境の保全と環境美化に対する意識の向上を図る事を目的としており、この日は、可燃ごみ240キ口、不燃ごみ120キ口が収集されました。中には、自転車やソファなどの不法投棄も見られ、マナーについて改めて考えさせられる機会となりました。



▲作業を行う竜北漁協組合員



▲2 tトラック3台分のごみが出ました

氷川町戦没者追悼式

4月5日、氷川町文化センターにおいて、氷川町戦没者追悼式が行われました。戦没者の霊に永久の平和を願い、和鹿島遺族会女性部長の中川洋子さんが献灯をされ、黙祷を捧げました。また、遺族会を代表し、古閑健男さんが「戦没者への慰霊と平和への願いを忘れず、このような戦争を二度と繰り返してはならないと深い反省をし、今日の平和と繁栄を築きあげてきました。先の大戦から学んだ多くの教訓を深く心に刻み、平和の大切さを次の世代に繋いでいくことが私たちの義務である。」と追悼の詞を述べられました。



▲追悼の詞を述べる古閑さん

立神峡里地公園だより

★ゴールデンウィークは立神峡里地公園へ★ ～さわやかな風と森につつまれた里山で身も心もリフレッシュ！～

【里山マルシェ 2011】開催（自由市場）
と き：5月1日（日）～5日（祝：木） 10時～17時
ところ：ふくろう館周辺
内 容：（大人数の場合はご予約をお願いします）

1. 「ドラちゃんの小枝のえんぴつ作り」 1日～4日 11時～14時 参加費 500円
 2. 「こどもの日スペシャル ネイチャーゲームを楽しもう」 5日 11時～ 参加無料
 3. 農と食の体験カフェ『風和里（ふわり）』 オープン！ 1～5日 10時～17時
- 体験メニューは日替わりで変わります。お楽しみに！！
手作りおやつ、焼きマシュマロ、ソーラークッカーによるおひさまクッキング、新鮮な地元農産品やおいしい新茶の販売など。
※ふくろう館の子育て応援ルームでは木のおもちゃや絵本もありますので、小さなお子様連れの親子も遊びにおいでください。利用は無料です。

【里山暮らしの学校特別上映会イン里地屋敷】
国際多様性デーの5月22日にあわせて、全国100か所での同時上映会のお知らせです。上映会後、感想をわかちあう茶話会や、焚き火カフェも予定しています。鑑賞料金も多様性デーにあわせて522円の特別料金です。お早めにお申込みください。定員60名。茶菓代400円別途必要。
と き：5月22日（日） 15時30分～17時30分（上映時間68分）
映 画：「幸せの経済学」 監督ヘレナ・ノーバーク＝ホッジ
※著書「ラダック懐かしい未来」は40か国語に翻訳されたベストセラー。人や自然とのつながりを取り戻す暮らし方を探るドキュメンタリー。

お知らせ 里山自然塾の体験会

里山自然塾とは子どもたちが野良仕事や野遊びを行い、土にふれ、季節にふれ、人と交流し、生命のつながりを身体を使って体験する、1年間の通期制の塾で、毎月3回日曜日開催。
【体験説明会】
と き・と ころ：5月4日（水）14時～ ふくろう館にて
対 象：小学1年生～3年生（保護者同伴）
また、子どもたちと一緒に活動していただける、野良仕事、野遊びの好きなボランティアスタッフも募集しております。
お気軽にお問い合わせください。



▲自然塾 田んぼでの活動

お申し込み・お問い合わせ先 立神峡公園管理組合 ☎62-1543

ふくろう館で

里山暮らし、今暮らし

⑤ 鯉のぼり

5月5日はこどもの日です。そのころになると、屋根の上を悠々と泳ぐ鯉のぼりをよく見かけます。鯉のぼりは、江戸時代に始まった習慣で、もともと真鯉（黒い鯉）だけを上げていました。明治時代になると、真鯉と緋鯉（赤い鯉）を対にして上げるようになり、昭和になると家族を表すものとして、子鯉（青い鯉）と一緒に上げるようになりました。最近では女の子も含めて、家族全員の数を上げる家もあるようです。現在私たちが見かける、色とりどりの鯉のぼりは、先人の方々が思いを加えて今の形にしたものでした。ちなみにふくろう館には森のようちえん手作りの手形の鯉のぼりが泳いでいます。